

3・4・32号 両三柳中央線 (一般県道東福原樋口線)

平成26年度公共事業評価委員会(第3回)
説明資料

1. 位置図(第1回資料)

3・4・32号両三柳中央線



3. 平面図・断面図(第1回資料)

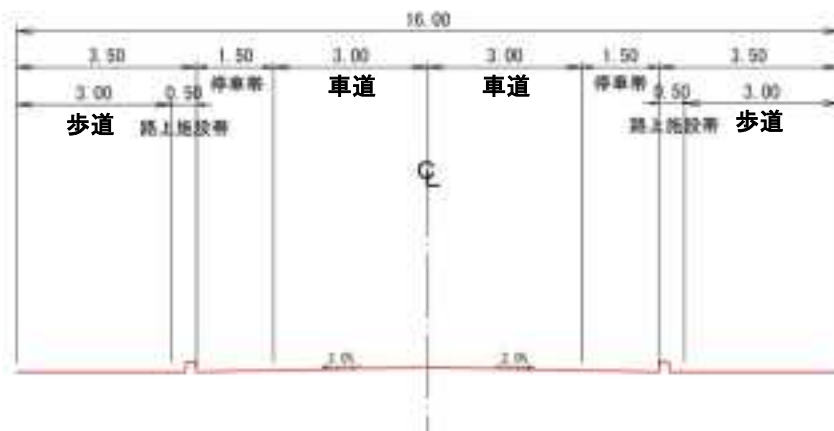
3・4・32号両三柳中央線

平面図

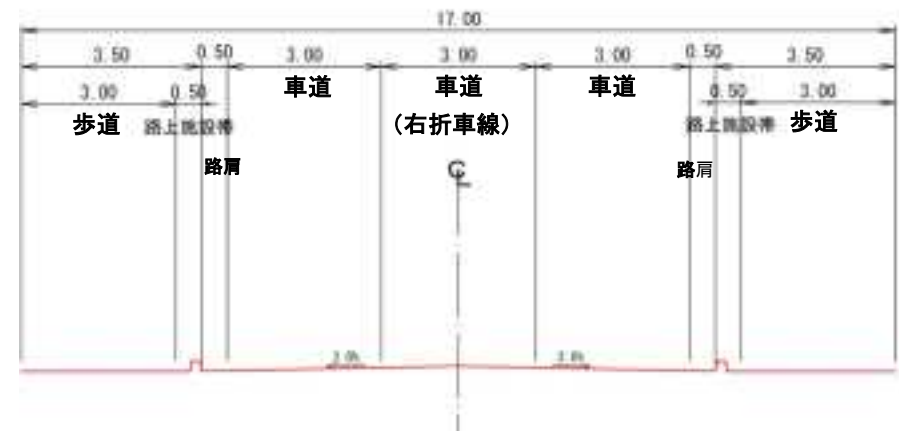
計画延長 L=2,400m



標準断面図 (単路部)



標準断面図 (交差点部)



4. ルート比較(第1回資料)

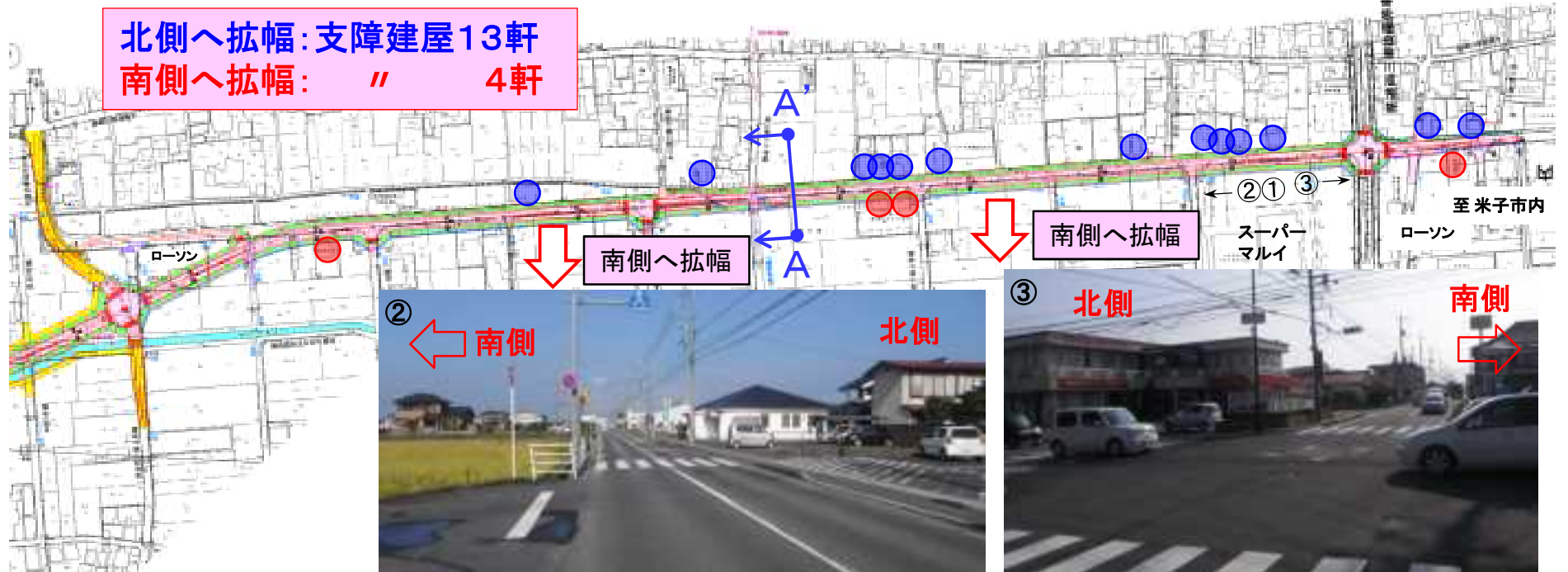
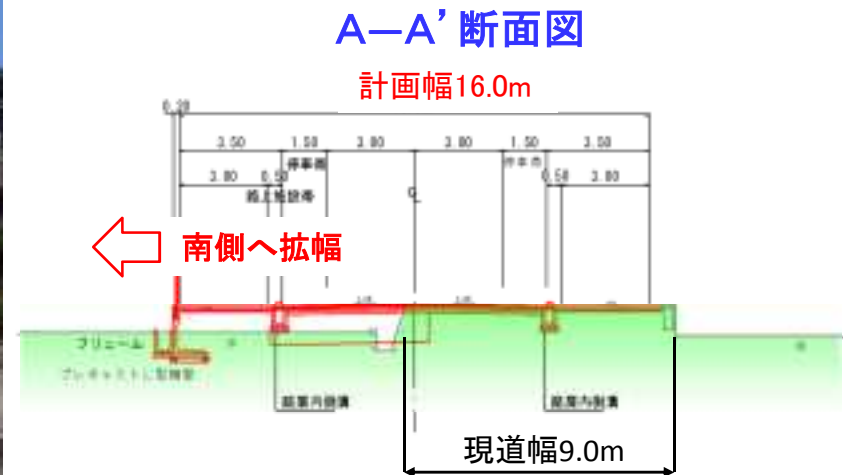
3・4・32号両三柳中央線

ルート平面図

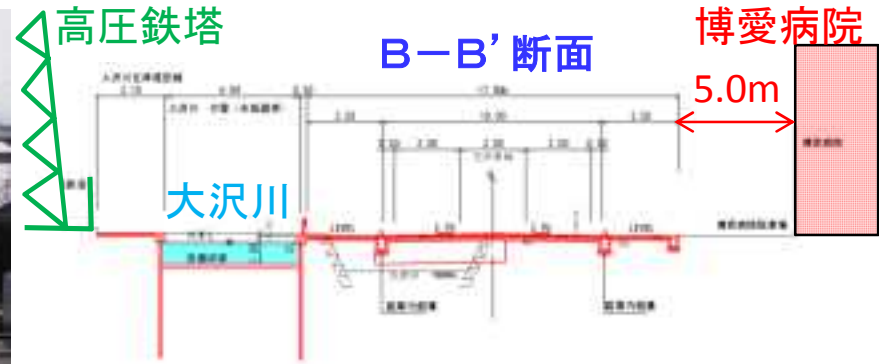


	案1:現道拡幅案	案2:バイパス(南側ルート)	案3:バイパス(北側ルート)
延長	L=2.4km	L=2.4km	L=2.4km
コスト (全区間)	3,834百万円	2,980百万円	2,450百万円
主な補償 対象	住宅44軒、店舗13軒、薬局1軒	住宅6軒、店舗5軒、公民館1軒	住宅3軒、店舗7軒、薬局1軒
評価	(-) 極めて高価	(-) 案3に比べ高価 (+) 線形が良い。 (+) 住民や病院との円滑な合意 形成が図られる。 採用	(+) 最も経済的 (-) 線形不良 (S字) (-) 住民や病院との合意形成の 難航が予想される。 ①住宅地と病院の分断 ②病院の駐車場の狭小化

5. 採用案の説明(現道拡幅区間) 3・4・32号両三柳中央線



6. 採用案の説明(バイパス区間) 3・4・32号両三柳中央線



7. 整備効果(1)

3・4・32号両三柳中央線

○歩行者・自転車の安全確保、自動車交通の円滑化



○自歩道整備による歩行者・自転車の安全確保

○クランク形状の解消、交差点への右折車線設置等により自転車交通の円滑化と渋滞緩和を図る。

8. 整備効果(2)

3・4・32号両三柳中央線

○周辺幹線道路の交通負荷の軽減

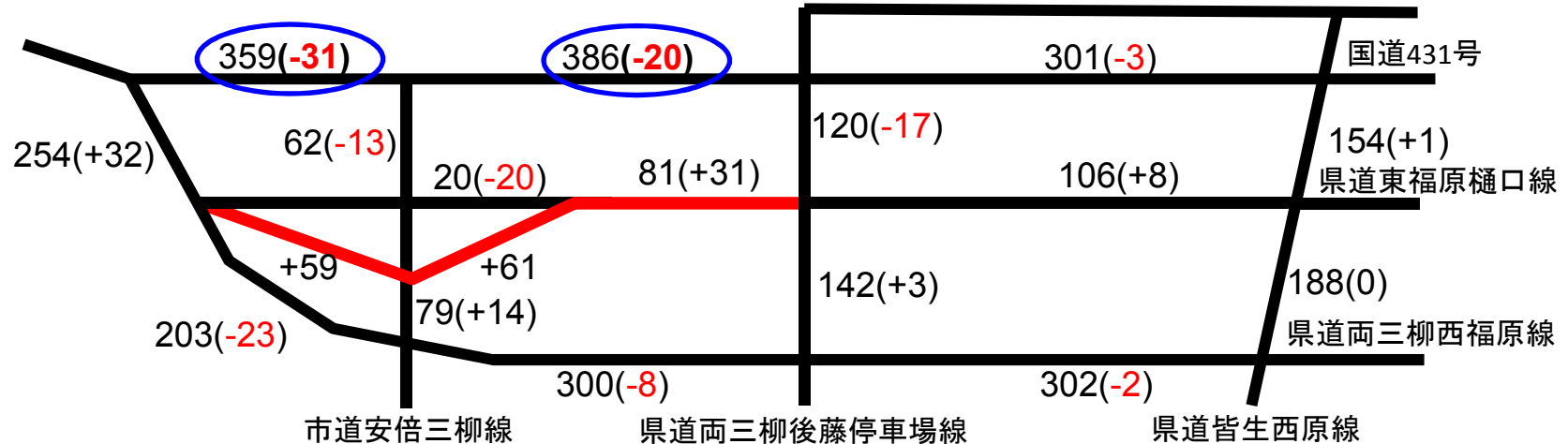
(1) H42推計交通量（県道東福原樋口線を整備しない場合）

単位：百台/日



(2) 整備した場合の推計交通量 ※（）は増減

単位：百台/日



周辺幹線道路（国道431号等）の交通量を減少させる効果が見られる。

9. 整備効果(3)

3・4・32号両三柳中央線

○救急医療機関（博愛病院）へのアクセス向上



クランク形状の解消等により緊急車両の到着時間の短縮、
来院者の安全性・快適性の向上を図る